

令和6年(2024年)10月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年10月 数量 (トン)	2024年10月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	北海道産・千葉県産・青森県産中心の入荷でした。数量はやや増加しました。平均単価は低く推移しました。	739	126	106%	85%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産中心の入荷でした。小玉傾向で数量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	715	131	93%	108%
3		きゅうり	埼玉県・群馬県産を中心に福島県、山形県産等の入荷でした。高温のため生育不良が続き数量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	270	518	76%	116%
4		ねぎ	北海道産、東北産中心の入荷でした。産地の長雨の影響により数量は平何並み。平均単価は低く推移しました。	159	535	101%	84%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。数量はやや減少し、平均単価は低く推移しました。	567	103	95%	82%
6	果実	ぶどう	数量は平年並み。平均単価は低く推移しました。	70	1,452	103%	86%
7		りんご	高温の影響で生理落果等が多くみられ、数量はかなり減少しました。平均単価は平年並みに推移しました。	193	427	69%	102%
8		柿	生育過程でのカメムシによる被害、生理落果の影響で数量はかなり減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	203	356	69%	108%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上